

発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

すまいるたうん



第292号
平成26年
7月13日

はい！東京新聞です

取材現場のつぶやき



す。なるべく役立つ情報が多く詰まっている記事を書きよと、日々、心がけています。

ただ、みなさまの地元・荒川区の記事が、必ずしも毎日、載っているとは限りません。なるべく地域の記事を多く載せたいと考えていますが、東京には二十三区と二十六の市、五つの町、八つの村があり、それぞれの地域の記事も載せるので、なかなか毎日、荒川区の記事を載せることができません。

ですが、新聞には幅広いジャンルの記事が載っていますので、その中には、荒川区の皆さまに役に立ちそうな記事、関心を持っていただけそうな記事は、毎日、何かしらあると思います。

例えば、七月一日の朝刊。総合面に毎日、載っている「首相の一日」という小さな記事に、こうありました。「6時4分、ブータンのトブゲイ首相と首脳会談。45分、共同記者発表」。ブータンの首相が来日し、安倍首相と会談したのです。ブータンは、中国とインドに挟まれた小さな国ですが、「国民総幸福量」を、国の発展の度合いを測る指標としています。

荒川区はこれにならって、荒川区民総幸福度というのを研究していますから、荒川区のみなさまにとって、ブータンは関心のある国の一つだと思います。

残念ながら今回、ブータンの首相は荒川区を訪れませんでした。日本はブータンに五十年にわたり農業分野などで政

府開発援助を続けており、首脳会談では、今後も交流を深める約束をしたそうです。

ブータンとの交流が深まれば、ブータンの要人や市民が、荒川区を訪れる機会も増えるかも知れません。

このように、紙面のどこかに、自分に身近な記事があると思いついたら、新聞を読んでいたけると、うれしいです。

さて、先月から今月にかけて、集団的自衛権についての記事がたくさん載りました。私は、憲法解釈を変えて集団的自衛権の行使を認める閣議決定をしたことを伝える七月二日の朝刊など、多くの紙面でニュースデスクを務めました。

紙面でさまざまな問題点を指摘していますが、私自身、今もこの集団的自衛権の行使、何が問題か、これからどうすればいいのかを、記者としてはもちろん、一市民として考えています。よその新聞の、行使に反対の立場、賛成する立場で書いている、さまざまな記事も読み、いろいろな雑誌や本も読み、いろいろな人の意見も聞いています。

迷いながら考えて、その考えを生かして、大きな記事であれ、小さな記事であれ、みなさまがいろいろな問題を考えるヒントになるような記事を書き、載せられるよう、心がけたいと思います。

(東京新聞 社会部 部次長

「前・したまち支局長」 榎本哲也)

でも、小さな記事も、読んでいただきたいからこそ、掲載しています。記事にしたほうが良いと思える大切なことは、毎日たくさんあります。ですが、すべて記事にしようにも、取材して書く時間には限りがあり、書いても紙面に限りがあります。その中でも、それを取材して記事を掲載したのは、より多くの人に役立つと考えるからで

す。なるべく役立つ情報が多く詰まっている記事を書きよと、日々、心がけています。